

a 学校教育目標	学びあい、思いあい、高めあいのできる児童の育成 「三愛」	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 友達と学びあい、思いあい、高まりあう児童の育成 【ビジョン】(自校の将来像) 自分を愛し、人を愛し、未来を拓く力を育てる学校
----------	---------------------------------	----------------------	----------------------------------------------------------------------------------

評価計画				自己評価				改善方針		学校関係者評価					
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	9 月	2 月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方針	l 評価			m コメント	
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ		
確かな学力の向上	確かな学力を身に付けた児童の育成	◎主体的・対話的で深い学びの実現により確かな学力を育成する。 ①算数科を中心とした授業づくり ・付けたい力とゴールの明確化 ・追究したくなる問題提示、児童主体の課題設定 ・数学的な見方、考え方を働かせ、「問い」を解決する授業づくり ・R80の活用(振り返りからの逆算式授業構想) ・リアルな学びを支えるICTの効果的活用 ②UDLに基づく授業改善 ・学習者視点での学びの障害を取り除く ・選択と自己決定の場の提供 ③生活科・総合的な学習の時間におけるPBLの推進 ・地域の教材化、地域人材の積極的活用	①単元末テスト「知識・技能」の平均正答率 ②単元末テスト「思考・判断・表現」の平均正答率 ③R80で振り返りをする際に、授業の中でのキーワードや接続詞を使って自分の考えを表現することができた児童の割合 ④「UDLの視点を取り入れながら、数学的な見方、考え方を取り入れた授業改善を意識することができた」と回答している教師の割合 「数学的な見方、考え方を意識して授業に取り組むことができてい」と回答している児童の割合	①1・2年85% 3年以上80% ②1・2年75% 3年以上70% ③90% ④どちらも90%											
豊かな心の育成	潤いと落ち着きのある自律した児童の育成	◎目標達成のため、自ら挑戦し、仲間と協働し粘り強くやりぬく力を育成する ①自己効力感・自己存在感を高める集団づくり ・一人一人の特性に応じた活躍の場の設定 ・頑張りを認める場の設定(成長ノート) ・相手を思いやる気持ちの醸成 ②「気持ちの良い学校」づくり ・自治的な児童会活動とリンクさせた規範意識と絆意識を醸成する場の設定 ・「あいさつ」と「掃除」による明るくきれいな学校づくり	①「これならできると自信をもっていえることがありますか」「あなたの話を聞いてくれる人がいますか」に肯定的回答をした児童の割合 ②「あいさつ」「掃除」の振り返りで肯定的評価をした児童・教師・保護者の割合	①85% ②90%											
健やかな体の育成	生涯にわたり心身ともに健康で安全な活力ある生活を送るための基礎的実践力の育成	○自分の健康に関心を持ち、健康課題を自ら解決していこうとする態度を育成する ①基礎体力の向上・運動が好きな児童の育成 ・体力テストの実施による課題の分析と指導の改善 ・体育の授業の工夫 ・外遊びの推奨の奨励と朝マラソンの実施 ②計画的・意図的な食育指導・給食指導の実施	①運動やスポーツが好きな児童の割合 ②感謝して給食を食べようとしている児童の割合	①90% ②100%											
信頼される学校	保護者・地域とともに歩む学校の推進	○コミュニティ・スクールを推進する ○教職員が健康でやりがいをもって勤務できる環境づくり ①目指す子ども像の共有 ・保護者、地域、関係機関との連携、積極的な情報公開 ②積極的な働き方改革への意識の向上 ・定時退校日の実施(毎週水曜日)	①「学校の様子がよくわかる」と肯定的回答をした保護者の割合 ②時間外勤務45時間以下の月が6ヶ月以上の教職員の割合	①85% ②100%											

本年度の重点目標については◎印で示す。

【j:自己評価 評価】

A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60

【l:学校関係者評価 評価】

イ:自己評価は適正である。ロ:自己評価は適正でない。
ハ:分からない。